

「えみふるふあいる」の配布と効果的な運用に向けて①

I ファイルの趣旨と配付状況

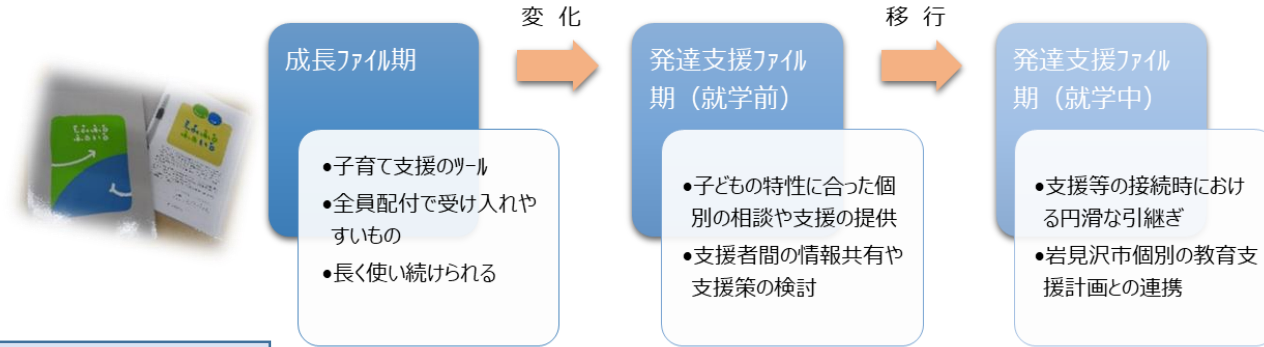
①ファイルの趣旨と特色

子どもが各ライフステージにおいて切れ目ない一貫した支援が受けられるよう、成長や発達、思い出を記録できる成長記録のファイル

- ◆配布時期 1歳6か月児健診時に、説明のうえ全員に配布
- ◆配布対象 市内在住の18歳以下のすべての子ども
- ◆保管 子ども及び保護者

②活用の流れ

「成長記録を収めるファイル」としてスタートし、子どもの発達について心配なとき、躓きに気づいたとき、支援者が関わり始めるときに、「発達支援の記録を収めるファイル」に変化。



えみふるふあいる配布状況 (R4.1.末時点)

機関	配布部数			総計	備考
	R1年度 (R1.9~R2.3)	R2年度 (R2.4~R3.3)	R3年度 (R3.4~R4.1末)		
保健センター (1.6健診)	207	380	354	941	健診時
保健センター (3健診)		3	41	44	健診時
子育て総合支援センター	44	42	67	153	窓口配布
子育て支援係	0	6	21	27	窓口・学校配布
ことばの教室	0	0	20	20	窓口配布
教育支援センター	11	0	0	11	窓口配布
福祉課	5	0	3	8	窓口配布
市立総合病院	0	0	0	0	窓口配布
合計	267	431	506	1204	

※配布開始：令和元年9月 (1歳6か月児健診)

II 令和3年度の取組

1. 【3歳児健診等での声掛け】

(1) 活用シートを作成し、3歳児健診で活用方法を周知

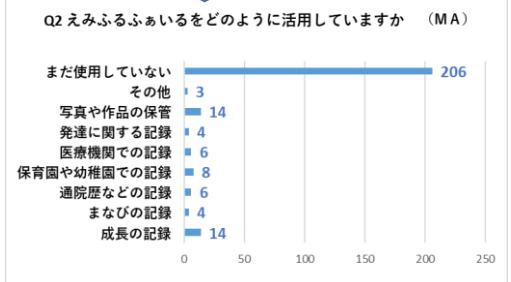
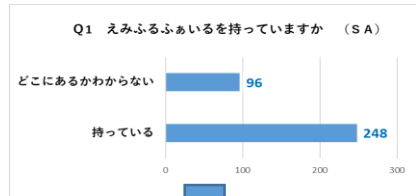
問診票コピーの手交と合せ、  
①記録する、  
②集める、  
③相談する  
の3つ活用例を提案。R3.8月の健診時からファイルに登載・配付。



活用シート (ファイル2ページ目に登載)

(2) アンケート調査結果より

【調査結果】 R3.3~R3.12 (R4.1月中止) に実施した3歳児健診受診の保護者344名から調査票を回収。



- Q3 意見・要望について
- ・サイズが大きい
  - ・使うきっかけがない
  - ・紙媒体で保管することに抵抗がある
  - ・集めた書類や相談内容を一目で読み返せて、管理しやすい
  - ・相談機関で相談した内容を幼稚園に伝える時に便利

2. 【情報発信 (保護者・支援者)】

(1) 支援者向けポスターの作成

支援者が目につきやすい事務所や相談室等に掲載するポスターを作成・配付。

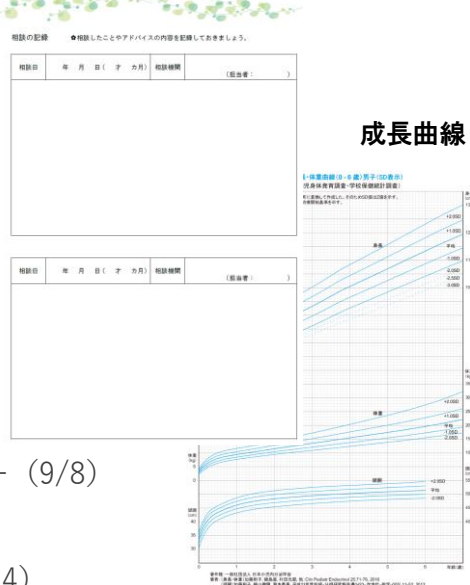


支援者向けポスター

(2) オptionalシート設定

- ・成長曲線
- ・相談記録シート
- ・心理検査 (発達発達) や発音の検査の記録シート

相談記録シート



(3) 支援者向け説明会

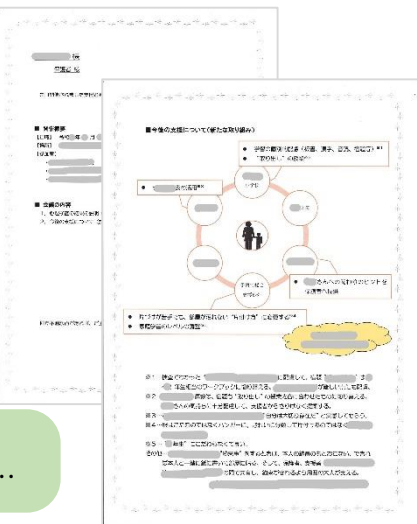
- ・小中学校 (8/31、9/2)
- ・地域子育て支援センター (9/8)
- ・保育園 (10/22)
- ・幼稚園 (12/20)
- ・療育事業所 (7/14 1/14)

3. 【支援者の立場から】

(1) 支援者会議での活用

保護者へ〈報告書〉を提供し「えみふるふあいる」に綴ってもらう。  
〈報告書〉の内容は、参加機関・話し合われたこと・今後の支援方針など。

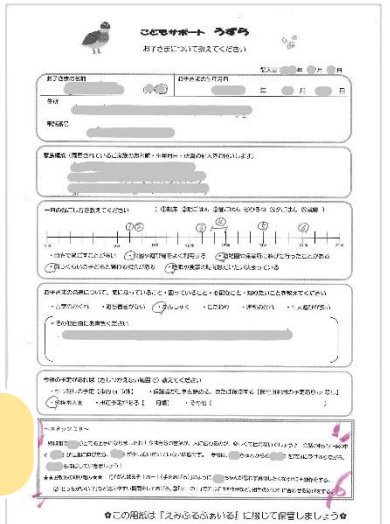
保護者と本人が“蚊帳の外”にならないように…



(2) 療育支援教室での運用

療育開始時の〈調書〉のコピーを提供し「えみふるふあいる」に綴ってもらう。  
〈調書〉の内容は、主訴・発達上の課題・支援方針など。

療育の目的を保護者と共有するために…



## III 今後の取組の方向性

区分	課題	検討の視点	取組の方向性や内容【協議の内容】
保護者の意識を維持する	3歳児健診以降において、支援を要しない場合、保護者が支援者につながる機会がないため、所持・活用の意識を維持していくことが課題。	持ってくることのインセンティブとは	例1) あそびの広場で満5歳の撮影会に案内。 (来場者に撮影した写真と記念品をプレゼントする) 例2) 市子育て関連行事等のスタンプラリーに参加し、参加者にプレゼント
		使われる機会や仕組みづくりとは	例1) 地域子育て支援センターや地域親子ひろばでの説明・配付・活用 例2) 小学校で実施する就学前健診時に持参 (3歳児健診同様に年長児の保護者に問診票を手交する機会とする。) 例3) 保育園、幼稚園における面談時の使用を想定した記録票の作成
支援者の実用性を高める	入園時において、ファイルに綴られている問診票をもとに、3歳児健診の結果を見せてもらう機会があるものの、発達検査を受けていない場合、得られる情報があまりない。	手がかりが得られないケースへの対応とは	例1) 保護者との今後の関わり方を考慮した声掛けにより確認していくスタンスが望ましいため、「健診時に保健師から何歳頃に確認させてほしいとかわれなかったですか？」などの替えかけを行う。
		必要な情報を引き出すための関わり方とは	例1) 検査結果は、検査をした専門職から直接聞く方が良いため、保護者が「えみふるふぁいる」を見せてくれたときに、「園でも有効な支援方法が知りたいので、検査者に直接問い合わせてみて良いですか？」と保護者の了承を得る。

### 参考：ライフステージを支える支援機関

年齢	就学前（乳幼児期）						就学中（学齢期）												卒業後							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20					
	1.6健診			3健診																						
支援者（機関）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園、幼稚園、その他</li> <li>・ 保健センター（母子）</li> <li>・ 福祉担当課</li> <li>・ 教育委員会（幼児ことばの教室）</li> <li>・ 子育て支援センター</li> <li>・ 発達支援センター</li> <li>・ 児童発達支援（通所支援サービス）</li> <li>・ 相談支援事業所</li> <li>・ 医療機関</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校</li> <li>・ 特別支援学校</li> <li>・ 放課後等デイ</li> <li>・ 相談支援事業所</li> <li>・ 教育支援センター</li> <li>・ 発達支援センター</li> <li>・ 医療機関</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校</li> <li>・ 特別支援学校</li> <li>・ 放課後等デイ</li> <li>・ 相談支援事業所</li> <li>・ 教育支援セ</li> <li>・ 発達支援セ</li> <li>・ 医療機関</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高等学校</li> <li>・ 特別支援学校</li> <li>・ 放課後等デイ</li> <li>・ 相談支援事業所</li> <li>・ 教育支援セ</li> <li>・ 発達支援セ</li> <li>・ 医療機関</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就業先</li> <li>・ 福祉施設</li> </ul>	
	配布			提示			支援の引継ぎ						支援の引継ぎ						支援の引継ぎ							
えみふるふぁいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成育歴（フェイスシート）</li> <li>・ 医療の記録</li> <li>・ 1.6問診票、発達の記録</li> <li>・ 3健問診票の記録</li> <li>・ 保育園、幼稚園等の様子</li> <li>・ 福祉、教育の支援の記録</li> <li>・ 療育機関の支援の記録</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育相談の記録</li> <li>・ 個別の指導計画</li> <li>・ 個別の教育支援計画</li> </ul>																			

### 面談記録シート

面談の記録 ☆面談でお話されたことをメモしておきましょう。

面談日	年	月	日	（オカ月）	クラス	組	先生

面談日	年	月	日	（オカ月）	クラス	組	先生

面談日	年	月	日	（オカ月）	クラス	組	先生